

霜月 ひふみのあゆみ

ひふみ投信 11 月度 ご報告書
2008 年 12 月 5 日号

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第 1151 号
加入協会：社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



霜月 (11 月)

霜が降る月の意味で、霜降り月・霜降月(しもふりつき)が省略されて、「霜月」となったというのが一般的な解説です。はかない冬の風物詩である「霜」。日が昇れば、とけて消えてなくなります。世界経済に降りた「霜」はいつ消えてなくなるのだろうか…。



お客様の資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。
ファンドマネージャーから皆さまへのメッセージならびに 2008 年 11 月の運用状況などをご報告いたします。

11 月のひふみ投信の運用環境・今後の見通し

ひふみ 今月も順調。ただ…

11 月は、上に下にジェットコースターのような動きで、結局株式市場は若干下がりましたが、ひふみ投信は何とか 2 ヶ月連続でプラスを維持することができました。今月も、「ゴールドクレスト」「ソフトバンク」「ゼンショー」「エイチ・アイ・エス」といった、国内の消費に関連する株式が着実に上昇しました。一方で、「サイゼリヤ」というイタリア料理のファミリーレストラン会社で、一時的とはいえ為替関連で大きな損失が発生することがわかり、月末にかけて大きく下げたのが残念でした。ただ、この損失を十分に市場が認識した時点で、ひふみでは将来を考えて買い増しました。

世界はまだまだ、でもユニクロはなぜ絶好調？

今月も世界では様々なことが起こりました。米国ではオバマ新大統領が選出され歓喜に沸きましたが、一方世界では、景気の急速な悪化が伝えられる中で各国が緊急の経済・金融対策を発表せざるを得ず、特に米国ではどうも中央銀行が民間の債権を買取るという驚きの政策を発表して、ようやく金融面での不安が取り除かれ一段落です。ただ、これからは本格的に世界景気の悪化がやってくるので、日本人としても気持ちとしてはベルトをしっかりと締めおく必要がありそうです。

一方、11 月 21 日号でデフレや円高で日本人の消費は底堅いという話を書きましたが、それ以外にも日本が良くなりそうな話はあるのです。一つは政府が打ち出そうとしている「超大型」の経済対策。本当に支出する金額は 5 兆円ではありますが、事業規模としては 27 兆円と過去最大なのです。もちろん細かいことを言えばいろいろとありますが、いずれにしてもこれは効きそうだと思います。もう一つはちょっと長期的な話ですが、人口動態のお話。確かに日本全体の人口は既に減少を始めていますが、①所得に対して消費する割合が最も高い「団塊」の世代が、退職金をしっかりもらって退職し年金をもらい始めているので、今後は時間に余裕があって所得にかかわらずお金を使ってくれる「塊」が出現する、②その次世代の「団塊ジュニア」が、既に結婚・出産し、これから家族の消費金額が上がる年代にさしかかる、ので 2015 年位までは逆に消費を押し上げる「ボーナス効果」があるそうです。もちろん、今のようなちょっと不安な時期にはちょっと節約しようとするから明確に数字には現れませんが、長期的には底上げ効果はあると考えています。その意味では、ちょうど団塊世代が 40 代だった 20 年前、80 年代後半はバブルの絶頂期でしたし、ひふみで保有しているユニクロの「ファーストリテイリング」が絶好調な理由も、人口動態の「ボーナス」と会社の「経営力」が加わったところにあるのかもしれないですね。

ひふみは順調

このように世界を眺め、また長期的ないろいろなことをじっくりと考えたうえで、ひふみ投信では、日本の消費、それも生活を豊かにして支えてくれる会社の株式をたくさん組み入れています。また 11 月にはさらに 3 社ほど、中身がしっかりしているのに安く放置されている会社の株式を買いました。今後も、市場ですから紆余曲折があるとは思いますが、是非暖かいご支援と理解をいただき、皆さまの資産形成のお手伝いできれば幸いです。

(ひふみ投信 運用責任者 立田博司)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。
・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

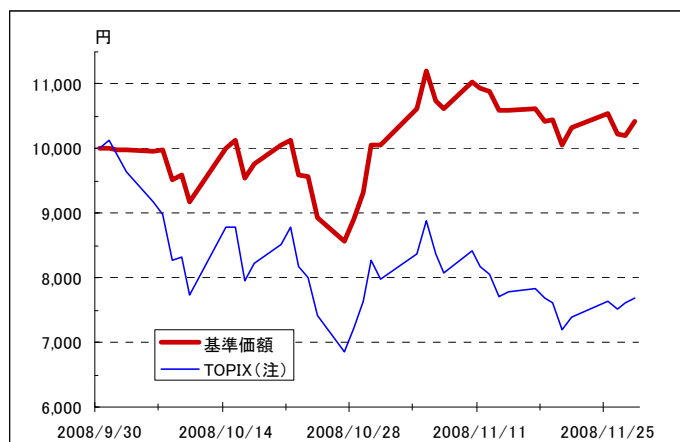
■ ひふみ投信の特色について

ひふみ投信は、お客さまの長期的な資産形成に貢献するために、円貨での信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内・外の上場株式に投資することにより、積極運用を行ないます。

■ 基準価額について（「ひふみ投信」の値段のことです）

基準価額	
2008年11月28日時点	
1万口当り 10,427円	

◆ 基準価額の推移



基準価額のおゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1カ月	3.55%	-3.72%
過去3カ月	-	-
設定来	4.27% (※1)	-23.23% (※2)

- ※1 基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から11月28日までににおける数値です。
 ※2 TOPIX 騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から11月28日までににおける数値です。

(注)TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。

※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

★TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。
 日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

■ 「ひふみ投信」の資産内容について（2008年11月28日時点）

皆さまからお預かりした大切なご資金で、どのように運用を行なっているのかをご報告いたします。

□ 資産の内訳

純資産総額	2.17億円
うち 株式	99.05%
うち 預金その他	0.95%

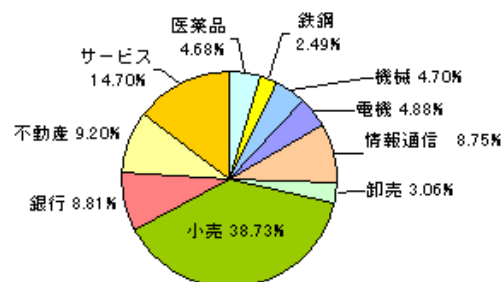


国別の割合	
日本株式	100%
海外株式	0%

□ 組入比率の高い銘柄（組入銘柄数:32銘柄）

	銘柄名	業種	比率
1	ゴールドクレスト	不動産	7.13%
2	日本電産	電機	4.88%
3	DCM Japanホールディングス	小売	4.80%
4	エイチ・アイ・エス	サービス	4.77%
5	ニトリ	小売	4.58%
6	アスクル	小売	4.53%
7	サイゼリヤ	小売	4.49%
8	スルガ銀行	銀行	4.48%
9	三井住友フィナンシャルグループ	銀行	4.32%
10	ソフトバンク	情報通信	4.11%

■ 組入銘柄の業種比率



* 組入比率は、いずれも「株式資産」に対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。
 ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
 ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

■ お客さまのご質問にお答えします

「ひふみ投信」へのご投資や運用に関して、これまでにお客さまからいただいたご質問をとりあげます。

【ご質問】「振込購入」と「定期定額引落し購入」の2種類の買付方法がありますが、

- ① どちらを選ぶのがいいのでしょうか？ ② 両方を併用することはできますか？

【コミュニケーション・センターがお答えします】

- ① こちらの質問は、口座開設手続中の方からも多くいただきます。

結論として、どちらをお選びになるかは、お客さまが投資なさろうとする資金の性格によって考えています。

投資信託は、株式や債券など値動きのある商品で運用するため、元本が保証されているものではありません。このため、「リスクをとれる資金」が今(まとまって)あるか?、ということでご判断いただくのも一つの方法と私たちは考えています。

近い将来使う予定のお金は、「リスクをとれる資金」には含まれません。

例えば、家賃や食費・光熱費、お子様の毎月の授業料など生活に必要な資金のことです。

今、「リスクをとってもしっかり考える資金」をお持ちのお客さまは、「振込購入」で取得なさるのもよろしいと思います。

一方、余裕資金をこれから蓄えようとされているお客さまは、毎月の貯蓄の一部として「定期定額引落し購入」を利用されることをおすすめします。

ちなみに、上記とは関係なく、リスクの回避策として「定期定額引落し購入」を選択されるお客さまもいらっしゃいます。これは、毎月一定額を積み立てる等、“購入時期を分散”させることによって、一時的にまとめて買うよりも一口当りの平均購入コストを低く抑えることを期待するものです。

- ② 「定期定額引落し購入」と「振込購入」を併用することもできます。

実際に、毎月定額で積み立てながら、別途資金ができた際や株式市場が安いときに「振込購入」で追加買付を行なうお客さまも多くいらっしゃいます。

「振込購入」では、1万円以上1円単位で「ひふみ投信」のお買付けができます。

是非、お客様の資金の性格・ご意向にあったお取引をお選びください。

また、ご不明な点がございましたら、コミュニケーション・センターまでお気軽におたずねください！

■ ご参考資料：『ひふみ投信』の組入全銘柄（2008年11月28日時点）

	銘柄名	比率	銘柄コード	業種	市場
1	ゴールドクレスト	7.13%	8871	不動産	東京一部
2	日本電産	4.88%	6594	電機	大阪一部
3	DCM Japanホールディングス	4.80%	3050	小売	東京一部
4	エイチ・アイ・エス	4.77%	9603	サービス	東京一部
5	ニトリ	4.58%	9843	小売	東京一部
6	アスクル	4.53%	2678	小売	東京一部
7	サイゼリヤ	4.49%	7581	小売	東京一部
8	スルガ銀行	4.48%	8358	銀行	東京一部
9	三井住友フィナンシャルグループ	4.32%	8316	銀行	東京一部
10	ソフトバンク	4.11%	9984	情報通信	東京一部
11	ゼンショー	3.76%	7550	小売	東京一部
12	第一三共	3.68%	4568	医薬品	東京一部
13	ファーストリテイリング	3.56%	9983	小売	東京一部
14	サンリオ	3.06%	8136	卸売	東京一部
15	リゾートトラスト	3.03%	4681	サービス	東京一部
16	アコーディア・ゴルフ	3.02%	2131	サービス	東京一部
17	イオン	2.68%	8267	小売	東京一部
18	三井海洋開発	2.67%	6269	機械	東京一部
19	ワークスアプリケーションズ	2.63%	4329	情報通信	JASDAQ
20	ヴェレジヴァンガードコーポレーション	2.58%	2769	小売	JASDAQ
21	ハニーズ	2.55%	2792	小売	東京一部
22	住友金属工業	2.49%	5405	鉄鋼	東京一部
23	総合メディカル	2.21%	4775	サービス	東京一部
24	リロ・ホールディング	2.07%	8876	不動産	JASDAQ
25	ワタミ	2.07%	7522	小売	東京一部
26	大塚商会	2.01%	4768	情報通信	東京一部
27	サザビーリーグ	1.94%	7553	小売	JASDAQ
28	スタジオアリス	1.66%	2305	サービス	東京一部
29	井上金属工業	1.23%	6246	機械	大阪一部
30	ベルク	1.20%	9974	小売	東京一部
31	ツムラ	0.99%	4540	医薬品	東京一部
32	ヒラノテクシード	0.80%	6245	機械	大阪一部

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

- 次回のひふみのあゆみは 12 月後半にお届けします。

12 月のポートフォリオの内容については、次々回(来年 1 月初旬)にご報告いたします。

「ひふみ投信」のコミュニケーション(セミナー)のお知らせ

ひふみサロン (ためてふやすはじめの一步)

まだ預金しかしたことがなく、はじめの一步を踏み出せないあなたへ。
「こんなこと聞いてもいいの?」「初歩的なことで気が引ける…」など、お金のことに興味はあるけど、セミナーへの参加は気が引けるというお客様にも安心してご参加いただいております。

12 月 15 日(月) 19:00~20:30

ひふみアカデミー (もっと詳しく知りたい)

投資信託の運用や、株式市場、経済に関して、もっと突っ込んで勉強してみたい方のために「ひふみサロン」よりレベルアップした内容となっております。
特に、100 年に 1 度の世界的金融危機以降、今後の経済や市場の動向についての質問が多く寄せられています。
ファンドマネージャーの説明もさることながら、参加された他のお客様の意見も参考になるとご好評をいただいております。

12 月 9 日(火) 19:00~20:30

場所 : 当社会議室(東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅徒歩 4 分)

<http://www.rheos.jp/about/overview/access.html>

人数 : 各回 15 名(先着順とさせていただきます)

参加費 : 無料

当社ホームページからお申込みください。 <http://www.rheos.jp/hifumi/seminar/>

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型株式投資信託／国際株式型(一般型)	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時~15時までとなります。 (国内の金融商品取引所の売買立会が午前立会のみ半休日は11時まで)
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時(半日営業日は11時)までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

- ・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。
- ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆ 「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆ お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター

電話： 03-5214-0123 (平日9時～17時)

メール： cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。